

未来をひらく人材と文化をはぐくむ

教育行政重点施策を

紹介します

教育委員会では、「第5次行田市総合振興計画」を踏まえ、「未来をひらく人材と文化をはぐくむまちづくり」の実現を目指して8つの柱を定め、各種施策を展開します。ここでは平成23年度に取り組みの中心となる事業を紹介いたします。



1. 家庭・地域の教育力向上と幼児教育への支援

世代間交流事業（寺子屋事業）

幼児や小学校低学年の児童およびその保護者を対象に、高齢者から地元に伝わる民話や昔話などを聞いたり、昔の遊びを体験したりする事業を開催します。

放課後子ども教室の開催

放課後に小学校の教室などを活用して、子供たちの安全な活動拠点を設け、地域の方々の参画を得て、遊びやスポーツ、文化活動、地域住民との交流活動などの取り組みを行います。



3. 学びの環境にあふれる生涯学習の推進

公民館施設整備事業

（仮称）桜ヶ丘公民館の建設、星河公民館の耐震補強および外部改修、地域公民館のトイレ改修などを行います。

行田市民大学の開催

市民の方に生涯学習の場を提供し、一人ひとりが輝き、豊かな地域社会づくりに貢献することを目的に行います。

行田市生涯学習ボランティア人材情報バンクの充実

豊かな知識、経験、技術を持った市民の方に、生涯学習ボランティアとして市に登録してもらい、市民の方からの要請に応じ、指導者または支援者として紹介します。

2. 確かな学力と生きる力を はぐくむ学校教育の推進



少人数学級編制事業

市費負担教職員により、小学1年生から3年生までおよび中学校全学年を対象として少人数学級編制を行います。

小学校英語活動および小・中学校連携の推進

国の基準では小学校高学年で行う英語活動を、市では小学1年生から導入しています。また、英語活動の小・中学校の連携を進めます。

特別支援教育体制整備事業

障害のある児童・生徒の自立や社会参加に向けて、学習や生活上の困難を改善・克服するため、必要な支援を行います。

小・中学校施設整備事業

南河原中学校屋内運動場の耐震補強工事、荒木小学校および西中学校の校舎外部改修工事などを行います。

教育研修センター研修事業の推進

教職員対象の研修事業を通して、専門職としての資質と指導力の向上を図り、確かな学力を育成します。

臨床心理士による市内全小学校への巡回支援の推進

児童一人ひとりの健やかな成長を願い、臨床心理士を伴って市内全小学校を訪問し、個別に教育的な支援を行います。

地場産物を利用した給食の推進

行田産米「彩のかがやき」や行田産の旬の野菜を使ったメニューを推進します。

4. スポーツと文化・芸術活動の振興



【スポーツ】

「第61回市民体育祭」の開催

総合公園自由広場を会場とし、市内全15地区の参加により開催します。

「第55回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会」の開催

競技力の向上と競技スポーツの振興を図るため、総合公園および周辺周回コースを会場に、1本のたすきを5人の仲間で継走します。

【文化・芸術】

行田市文化祭「レインボーフェスティバル」の開催

行田市文化団体連合会加盟団体が、広く市民の方に鑑賞の機会を提供し、市民文化の高揚を図るために行います。

「公募行田市美術展」の開催

美術に親しむ方の創作意欲および鑑賞による豊かな心の育成を図り、市の文化の発展に寄与するために行います。